

記者提供資料
2026年(令和8年)5月1日
環境産業局 産業振興室 商工政策課(担当:名村・富田) TEL:078-918-5098(内線:2561)

令和7年度 明石市チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助の実績について

本市では、中小企業・中小事業者への支援などに取り組んでおり、その一環として、令和6年度から、明石市及び明石産品の認知度の向上や市内産業の更なる振興を図るため、新商品や新サービスの開発、販路の開拓や拡大にチャレンジ・スタートアップしようとする、活力ある市内の事業者の取組を支援することを目的とした、「明石市チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助」事業を実施しています。令和7年度は事業規模を拡大し実施しましたので、その結果を下記のとおり情報提供します

記

1 事業概要及び審査結果等 ※カッコ内、下線付きゴシック数字は令和6年度実績

項目	内容
対象となる取組	(1)新商品や新サービスを開発するための取組 (2)販路の開拓や拡大のための取組
主な対象者	(1)市内に本社・本店(主たる事業所)がある中小企業者(個人事業主を含む) (2)令和7年度中に市内で創業を予定されている方
補助額	対象経費の2/3以内・上限額50万円
募集件数	10件(6件)
募集期間	令和7年5月1日～6月30日まで(7月1日～8月30日まで)
応募者数	32者(33者)
審査方法	(1)書類審査:事業計画書及び収支報告書による審査、上位13者(9者)を選出 (2)プレゼン:上記(1)からプレゼンで上位10者(6者)を補助対象者として選出
その他	令和8年3月31日までに事業を完了、実績報告書の審査後補助金を交付

2 補助対象事業及び感想等

No.	対象事業 (補助対象者)	感想等の概要
1	明石発「ぬる酒粕クリームチーズ」販路拡大のためのECサイト新規開設 (珈琲 木熊家)	資金面での支援以上に「市に取り組みを認めていただいた」という実感が、自分自身の大きな自信につながった。公的に背中を押していただいたことで、商品づくりに対する誇りや責任もより一層強くなった。その想いを大切にしながら、明石の魅力を活かした商品づくりに引き続き取り組んでいきたい。 このような機会をいただいた一事業者として、今後は自身の取り組みを通して制度の存在や価値を伝えながら、同じように挑戦される方の後押しや、明石のさらなる活性化につながれば嬉しい。
2	明石をたべよう!「明石地産地消」明石産食材×地元企業コラボパン開発事業 (魚住製菓 株式会社)	補助金を活用したことで、通常業務では着手が難しい取り組みに挑戦することができた。特に、地産地消商品としての価値を明確にし、イベント出店や情報発信を通じて多くの方に知っていただくことができた。 今後は、本事業で得た成果を基に、より円滑で継続性のある取り組みへと発展させたい。

No.	対象事業 (補助対象者)	感想等
3	インバウンド需要に向けたグルテンフリー料理体験事業の立ち上げ (GF Kitchen)	本補助金の支援をいただいたおかげで、本業の枠組みを超え「インバウンド向けの和食体験」という新たな事業領域へ思い切って挑戦することができた。 今後はこの事業を大切に育て、海外から明石へと多くの方を呼び込むことで、地域の魅力発信や地域活性化にも貢献していきたい。
4	明石・兵庫発の「漁網deアップサイクル」販路拡大プロジェクト (一般社団法人 neo-wave)	本補助により、展示会出展や交流会参加など活動の幅を広げることができ、地元での担い手や連携先が増加。商品数の拡充に加え、販売機会や問い合わせも着実に増えた。 市に活動の意義を認めていただき、継続的に相談に乗っていただけたことも大きな支えとなった。
5	食でグローバルフードリーフィを目指す！ 認知度アップのための広報戦略と、唯一無二の存在をアピールするためのブランディング戦略 (特定非営利活動法人 多文化センターまんまるあかし)	今回の補助金を活用してホームページを開設したことで、日本人だけでなく、地域に暮らす外国人の方々にも情報を届けられるようになった。また、明石市公設卸売市場とのコラボイベントでは、明石の魚を使った外国料理を開発し、多くのお客様に提供する機会を得られた。 一方で、明石の魚を使ったメニューについては、売価とコストの調整に難しさも感じた。それでも、今回の取り組みを通して得た知見を活かし、今後も新しいメニューの開発に挑戦していきたい。
6	やさしさ介護タクシープラン ～女性専用選べる車いす～ (介護タクシー たこのあし)	本補助金を活用することで、介護タクシー事業を円滑に進めることができ、地域に必要とされるサービスを提供する機会を得られたことに深く感謝している。 本補助事業の成果を活かし、地域に貢献できる事業者として継続的なサービスの向上に努めたい。
7	明石の歴史・文化を撮影 「子どもカメラマン体験教室」 (阿那写真館)	神社とのコラボも実現し、お客様からは学びも有り、感性を磨き、楽しさもあるイベントだとお褒めいただいた。神社でのイベントは知名度が低く、宣伝には改良の余地があるが、今後も「子どもカメラマン体験教室」は継続していきたい。
8	明石産マダイを活用した缶詰製作 (株式会社 丸大)	開発にかかる費用の負担が軽減され、思い切って商品開発に取り組むことができた。
9	米や野菜の価格高騰に強い味方！明石発！ 採れたて産直プロジェクト (有限会社 かんらん)	24時間365日体制で販売ができるため、夕方から翌朝にかけての購買層が増え、明石産の野菜の美味しさをより多くの人に知ってもらえることができた。
10	地域に愛され、必要とされて、多くの世代が利用できる笑顔溢れる和食店 (ごはん処 木洩れ日)	お店にとって有意義な補助金になり感謝している。資料をもっとスムーズにまとめられたら良かった。

3 令和8年度の主な変更点

(1) 申請者の限定

過去に助成を受けたことがある事業者（個人）※¹、同一年度に当課及び他課の補助金（あかし市民活動応援助成金）の助成を受けている事業者（個人）※²は対象外とします。

※¹新規事業（同一事業と判断される場合は不可）であれば助成は可能

※²別事業（事業内容、収支など）であれば助成は可能

(2) 案内時期の見直し

受付開始前に募集案内の周知に取り組みます。

	令和8年度	令和7年度
事業のお知らせ	4月1日	5月1日
募集期間	5月1日～6月30日	5月1日～6月30日

【参考】令和6年度の補助対象事業

No.	対象事業（補助対象者）
1	東京インターナショナルギフトショーに出展(オークス株式会社 代表取締役 長尾洋平)
2	明石土産の商品開発と専用ショップページの新規開設(富士の山菓舗 店主 原田貞)
3	広口瓶用のキャップ導入で環境負荷の低い商品開発 (茨木酒造合名会社 代表社員 茨木幹人) ※補助金の交付決定後、本業（酒造）が多忙を極めるなど状況の大きな変化があり中止
4	明石の新たなお土産「おもてなし明石産のヒラメおにぎり」の販売 (食ベル笑ウ 松本家 代表 松本翔太) ※明石浦のヒラメの仕入れ、安定供給が困難になったことなどの理由から中止
5	明石・兵庫企業とベンチャー人材・企業をマッチングするWEBサイトの開設 (S-KINO合同会社 代表社員 崎野雄生)
6	販路拡大及び新商品開発のための新機材導入(燻製居酒屋KUN-KUN 店主 辻田哲)